

令和 8 年 2 月 24 日

見附市議会議員 様

見附市議会議員 加藤 秀之

一 般 質 問 通 告 書

下記のとおり質問したいので、会議規則第 6 1 条第 2 項の規定により通告します。

質問事項 (主題を記載してください。議場配布の一覧表に印刷)

【1】令和 8 年度の市政運営について

答弁を求める者 市長

令和 8 年度当初予算案が 2 月 20 日に発表され、内容は一般会計の総額は 202 億 5000 万円で、令和 7 年当初予算と比べて 1.4% (2 億 7000 万円) 増加となっております。稲田市長の 2 期目初となる予算編成で令和 8 年度からの第 6 次総合計画に沿った施策が盛り込まれおり、また、2 月 21 日新潟日報 18 面では市長は「人口減対策を最重視した。総合計画を実行していくための初年度の予算を積み上げた。」と発表されています。それらをもとに令和 7 年 9 月議会、12 月議会で質問させていただいた内容を検証し、今回は稲田市長の市政運営についての理念、基本方針をお聞かせいただきたいと思います。

- (1) ふれあい懇談会、見附市学校適正配置計画案の説明会など常に市民との対話を大切にされている姿勢と丁寧な対応、昨年の市長選挙時に掲げられた「みんなでつくろう！暮らし満足 No. 1 のまちを」、「誰もが「このまちで暮らせてうれしい」と実感でき、自然と笑顔があふれる。そんな「魅力あふれる見附の未来」を、市民の皆さんとともにつくっていきます。」という公約などから、令和 8 年度重点施策からそれぞれの分野での基盤となるものは「地域コミュニティ」・「一人一人の市民」の力であると感じられます。市長の考えている市政運営に必要な現場での問題をどのように分析し、解決していくかのアクション・リサーチの手法などをお聞かせください。

※ 番号のつけ方 (大項目) 1 2 3 (中項目) (1) (2) (3) (小項目) アイウ



- (2) 「予算はあくまでスタートです。予算がつけば、課題が解決するわけではありません。」これは芦屋市の高島峻輔市長が述べられた令和7年度施政方針演説の一部であります。他自治体に学び、見附市民と行政の共創がまちづくりの新しい息吹になると思いますが、市長の予算策定に関するご見解をお聞かせください。
- (3) 見附市でも職員対象に外部講師による研修などが行われている様子を市長の市政報告会でお聞きしました。長岡市では生成A Iのさらなる活用へ幹部職員向けにセミナーが開催されています。今後、生成A Iの活用は市民サービスの向上、日常業務効率化につなげるためにも必要であると考えます。見附市として、予定される生成A Iの導入計画などがありましたらお聞かせください。
- (4) 今後、第6次見附市総合計画前期分及び令和8年度当初予算の概要について、K P Iなどの指標を用いて計画・重点施策の進捗状況、課題など評価を更に市民に浸透できる工夫などのお考えがあるかお聞かせください。

質問事項 (主題を記載してください。議場配布の一覧表に印刷)

【2】 持続可能な公営企業(水道・下水道・病院)の課題について

答弁を求める者 市長

水道関連においては本年1月に発生した上北谷地区ほかにおける断水、断水には直接関連していなくても不安を感じられた市民の声をお聞きしたこと、また、病院関連では本年1月と2月に産業厚生委員会で行った「市民病院の現在地」における勉強会、2月に町立津南病院の視察から「総合診療医」について学んだ地域医療の現実があります。それらをもとに、公営企業に共通する財政面に関して見附市の決算カードや関係資料である「見附市水道事業経営戦略」「見附市立病院経営強化プラン」から検証を行い、以下、お聞きいたします。

(1) 「見附市における持続可能な公営企業とは何なのか」「市民サービスを提供し続けていくために、どのような考え方・方針・経営理念をお持ちであるか」をお伺いします。

(2) 水道・下水道事業において「老朽化」「料金収入減」をキーワードにお伺いします。

ア. 施設・設備の老朽化に伴い今後、市民がどの程度の水道料金の負担をしなければならないかをお聞きします。

イ. 財政面から考えると、どうすれば施設・設備を計画的に更新できることが可能になるかをお聞きします。

ウ. 公営企業経営においては様々な知見・技術を持ち合わせておられる住民に参画してもらいながら、見附市の公営企業の経営理

※ 番号のつけ方 (大項目) 1 2 3 (中項目) (1) (2) (3) (小項目) アイウ

念を作り直すことが必要ではないかと感じます。ご見解をお聞かせいただきたいと思います。

(3) 病院事業において、市長が考えられる持続可能な地域医療の在り方という観点から、医師確保・看護師確保、定着の取り組みについてのご見解をお伺いします。

(4) 総合診療医へのシフトは、総合診療医育成と地域の医療体制の維持にとって、今後10年先を見据えた中では地域ニーズに合致した戦略であり、持続可能な医療が地域への波及効果をもたらすものと感じます。市長のご見解をお聞かせいただきたいと思います。

以 上